

アンケートに回答いただいた方へのヒアリングについて

1 目的

まちづくり活動を行っている方へヒアリングを行うことにより、アンケートの集計結果の分析を深め、アンケート結果と併せて、まちづくり活動の現状と必要な支援策等を分析・抽出する。

2 ヒアリング対象

5 団体程度

※ヒアリングに御協力いただける方：84 件

(所属団体別 内訳)

自治会・町内会	6 件
地域組織	5 件
任意団体・グループ	43 件
NPO	16 件
個人	8 件
まちづくり活動を行ったことがあるが、今はしていない	2 件
まちづくり活動を行ったことがない	4 件

3 実施方法

1 団体当たり、フォーラム委員 1～2 名と事務局 1 名により行う。

4 実施期間

11 月上旬までを目途とする。

5 ヒアリングで主にお聞きすること

アンケートの集計結果を踏まえ、以下の 4 つの柱に基づきヒアリングを行う。

柱 1 情報の受信・発信について

- まちづくり活動支援の情報をどのように入手しているか。
- どのような情報をどのように入手したいか。
- 自身の活動をどのように発信しているか。
- 情報の受信・発信で課題だと感じる点。
- 情報の受信・発信について、どのような支援があればよいか。

柱2 活動の開始及び継続について

- 活動を始めた具体的なきっかけ。
- その時課題だと感じたこと、その時受けた支援、
- 活動をはじめる際に、どのような支援があればよかったか。
- 活動を継続していくうえでの課題。
- 活動の継続のために受けた支援。
- 活動を継続するために、どのような支援があればよいか。

柱3 資金獲得について

- 使ったことのある補助金は。その際に良かったこと、困ったこと。
- どのような補助金があればよいか。
- 資金獲得のために、補助金以外にどのような支援があればよいか。

柱4 ネットワークの拡大や協働について

- ネットワークの拡大や協働を進めようと思うか。その際の課題は。
- これまでに参加した意見交換会や交流会は。
- そこで良かったこと、残念だったこと。
- どのような意見交換会や交流会があればよいか。